

パネルディスカッション

語っぺし おらほの復興



参加無料

～ボランティアにも

男女共同参画の視点を～

2015.6.14 Sun.

13:30～15:00

アイーナ 803 会議室

岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 - 7 - 1
いわて県民情報交流センター

主催：復興庁男女共同参画班

あの震災から 4 年。
いわての復興を
もっともっと力強く進める
ボランティアのあり方とは？
現場に立つ若い人々とともに
男女共同参画の視点から
考えていきます！

パネリスト

高橋 聖子 ジェンダーアクション・プラットフォーム 理事プログラム担当

男女共同参画の視点をもったボランティアってどんなこと？ 何のメリットがあるの？ 国際協力 NGO のスタッフとしての東日本大震災、また海外での豊富な支援活動経験からお話しいたします。

佐々木 信秋 一般社団法人 SAVETAKATA 代表理事

陸前高田で多くのボランティアの方々とともに取り組む農業、IT 事業、若者事業。それら地域の課題解決の現場には、男性ばかりでなく頼もしい女性たちの活躍があるとか。その様子についてうかがいます。

前川 菜里 関西 My Do girls チーム南女 所属

「大槌で被災した自分が神戸にいる意味って何だろう？」そんな問いから始めた復興支援ボランティア。関西の女子学生仲間と 2 つの被災地をつなぐ活動を通して感じてきたことを、等身大で語っていただきます。

齊藤 剛太 復興 Girls&Boys* 所属

「復興 Girls&Boys*」の前身は、岩手県立大学の女子学生によるボランティア団体「復興 Girls*」でした。男子学生が加わって何か活動に変化はあったのでしょうか？ その男子学生の立場からお話しいたします。

コーディネーター

田村 太郎 復興庁 復興推進参与

定員 50 名 (先着順) お申込みはメールで.....

復興庁男女共同参画班 fukkocho.danjohan@cas.go.jp

Tel. 03-5545-7404 *会場の関係上、入場を調整をさせていただく場合もございます

